

AC100V/DC48V 電源ユニット

# AT-LXPWR-10/80 インストールガイド

この度は、AT-LXPWR-10/80 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、8CH マルチプロトコル WDM シャーシ「CentreCOM LX3800」(以下 LX3800) 専用のリダンダント電源ユニット (Redundant Power Supply) です。停電、電源ケーブルの断線、電源ユニットの故障といった電源障害による LX3800 の機能停止を防ぎます。最初に本書をよくお読みになり、内容をよくご理解いただいた上で、本製品を正しくご使用ください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

## 1 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

## 2 特長

- AC100-240V(AT-LXPWR-10)、DC48V(AT-LXPWR-80) に対応
- ホットスワップに対応、LX3800 の動作中に着脱可能

## 製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

<http://www.allied-telesis.co.jp>

## 3 梱包内容

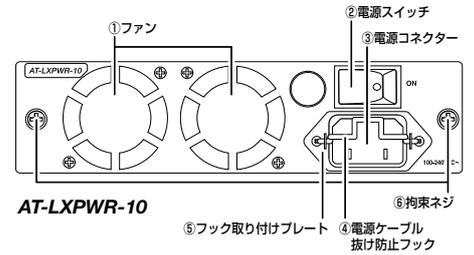
最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- AT-LXPWR-10/AT-LXPWR-80 本体 (いずれか 1 台)
- 電源ケーブル\* (AC100V 用 1 本、AT-LXPWR-10 のみ)
- 電源ケーブル抜け防止フック (1 個、AT-LXPWR-10 のみ)
- インストールガイド (本書)
- シリアル番号シール (2 枚)

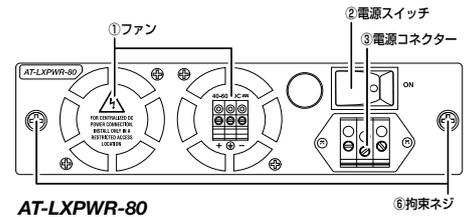
- \* 同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。
- \* 同梱の電源ケーブルは AC100V 専用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包する事が望まれますので、本製品が納められていた梱包箱、緩衝剤などは捨てずに保管しておいてください。

## 4 各部の名称



AT-LXPWR-10



AT-LXPWR-80

図 1 正面図



# 安全のために

必ずお守りください



## 警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

### 分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

### 雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

### 異物は入れない 水は禁物

火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

### 通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

### 湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となります。



設置場所注意

### 表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。

AT-LXPWR-10 は AC100-240V で、AT-LXPWR-80 は DC48V で動作します。なお、AT-LXPWR-10 に付属の電源ケーブルは 100V 用ですのでご注意ください。



電圧注意

## 正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。

AT-LXPWR-10 には接地端子付きの 3 ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの 3 ピン電源コンセントに接続してください。AT-LXPWR-80 には 14AWG より太い 3 心電源ケーブルを使用し、DC 電源供給装置・設備に接続してください。

## コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



## 設置・移動のときは電源ケーブルを抜く

感電の原因となります。



## ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。

ケーブル類やプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



## ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所 (仕様にて定められた環境条件下でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュースを敷いた場所 (静電気障害の原因になります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



## ① ファン

空気の循環をよくして、熱を逃がすためのファンです。

## ② 電源スイッチ

オン側に倒すと、本製品から LX3800 に電源が供給されます。反対側に倒すと、電源供給が停止されます。

## ③ 電源コネクタ

電源ケーブルを接続するための端子です。

## ④ 電源ケーブル抜け防止フック(AT-LXPWR-10のみ)

電源ケーブルの抜け落ちを防止する金具です。工場出荷時は、フックは取り外された状態で同梱されています。

## ⑤ フック取り付けプレート(AT-LXPWR-10のみ)

電源ケーブル抜け防止フックを取り付けるプレートです。

## ⑥ 拘束ネジ

LX3800 に装着し、固定するためのネジです。

## 5 設置

### ● 設置にあたってのご注意

本製品の設置・使用を始める前に、「安全のために」をよくお読みください。設置にあたっては、次の点にご注意ください。

- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、機器の通風口をふさがないように設置してください。
- テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。
- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手(体)でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

### ● 装着のしかた

- 本製品はホットスワップに対応していますので、使用中の LX3800 に本製品を装着・交換する際には LX3800 の電源を切る必要はありません。
- LX3800 に本製品が 2 台装着されている場合は、両方同時に動作します。



ヒント

LX3800 に本製品が 2 台装着されている場合は動作中の製品から LX3800 に電源を供給したまま、異常が発生した製品を新しいものに交換することができます。

- 1 LX3800 背面の電源ユニットスロットのカバーパネルを取り外します。カバーパネルの拘束ネジをドライバーで緩めて、カバーパネルを外してください。
- 2 本製品を電源ユニットスロットに取り付けます。電源ユニットスロットのガイドレールに沿って、本製品の前面パネルと LX3800 の背面がそろって押し込みます。
- 3 本製品の拘束ネジを締め、LX3800 本体に固定します。

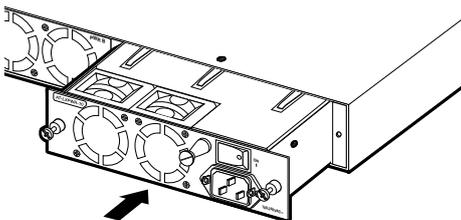


図 2 本製品の装着



警告

LX3800 のカバーパネルは、本製品を装着するとき以外は外さないようにしてください。また、カバーパネルの内部に異物を入れないでください。火災や感電、機器故障の原因となるおそれがあります。

## 6 電源ケーブルの接続

電源ケーブルの接続方法は、お使いの製品によってそれぞれ異なります。はじめに製品ごとの注記をよくお読みのうえ、ケーブルを接続してください。

### ● AT-LXPWR-10 の場合



注意

AT-LXPWR-10 に同梱されている電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。



警告

AT-LXPWR-10 を AC100V で使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。AC200V で使用する場合は、設置業者にご相談ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。



警告

電源プラグを電源コンセントに接続したまま電源コネクタを抜かないでください。感電事故を起こす恐れがあります。

- 1 同梱の電源ケーブル抜け防止フックを、フック取り付けプレートに下図の向きで取り付けます。

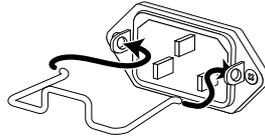


図 3 フックの装着方向

- 2 電源ケーブルを接続します。電源スイッチがオフの状態であることを確認して、同梱の電源ケーブルを電源コネクタに接続します。

- 3 電源ケーブル抜け防止フックで電源ケーブルが抜けないようにロックします。

- 4 電源ケーブルの電源プラグを、電源コンセントに接続します。電源プラグは 3 ピンです。接地端子付きの 3 ピンコンセントに接続してください。

### ● AT-LXPWR-80 の場合

本製品には電源ケーブルは付属していません。電源との接続には、UL 規格に準拠した 14AWG (1.628mm) より太い 3 心電源ケーブルをご用意ください。



警告

安全のために、本製品と DC 電源の間には 15A 以上のサーキットブレーカーを接続してください。



警告

必ず電源が遮断されていることを確認してから作業を行ってください。電源供給が行われている状態で結線すると、感電や機器故障の原因となります。



注意

本製品の取り付けまたは交換は、訓練を受け、十分な知識を持った技術者が行ってください。また、集合電源装置に接続する場合は、施設管理された立ち入り制限区域に設置してください。

- 1 電源ケーブルの先端の被覆をはがします。14AWG のワイヤストリッパーを用いて、DC 電源に接続する電源ケーブルの絶縁体を 8mm 程度はがしてください。



警告

上記の推奨値以上に絶縁体をはがさないでください。また、結線後は心線が露出していないことをご確認ください。感電や機器故障、ほこりなどの付着による発火の原因となります。

- 2 FG (フレームグラウンド) 線を結線します。本製品のファン部分にある端子レイアウト図を確認して、電源コネクタ中央の接地端子穴に下から挿入し、マイナドライバでネジを締めます。



警告

本製品に電源ケーブルを接続する場合は、必ず FG 線をはじめに結線し、電源ケーブルを取り外す場合は、FG 線を最後に外してください。

- 3 プラス端子、マイナス端子を結線します。手順 2 と同様に、プラス端子、マイナス端子の順に、電源コネクタ左側の＋端子、右側の－端子に結線します。

- 4 人や物の接触による電源ケーブルの脱落を防ぐため、結束バンドなどを用いて電源ケーブルを固定します。

- 5 電源ケーブルの反対側を DC 電源に結線します。

## 7 トラブルシューティング

「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

- 本製品が LX3800 に正しく装着されているかどうか確認してください。

- 電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源ケーブルを使用しているか、断線していないかなどを確認してください。

## 8 製品仕様

	AT-LXPWR-10	AT-LXPWR-80
電氣的仕様		
定格入力電流	1.5A	1.36A
定格入力電圧	AC100-240V	DC48V
入力電圧範囲	AC90-264V	DC40-57V
定格周波数	50/60Hz	—
定格出力	DC+3.3V 25.0A DC+5.0V 4.0A DC+12.0V 0.5A	DC+3.3V 25.0A DC+5.0V 4.0A DC+12.0V 0.5A
環境条件		
動作時温度	0 ~ 40°C	
動作時湿度	80% 以下 (ただし、結露なきこと)	
保管時温度	-20 ~ 60°C	
保管時湿度	95% 以下 (ただし、結露なきこと)	
外形寸法 (突起部含まず)		
外形寸法	156(W) × 168(D) × 40(H)mm	
質量		
	970g	940g

## 9 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社 (弊社) の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2005-2006 アライドテレシスホールディングス株式会社

## 10 商標

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

## 11 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

## 12 日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は下記窓口へご相談ください。

☎ 0120-860442

月～金 (祝・祭日を除く) 9:00 ~ 17:30

## 13 マニュアルバージョン

2005 年 11 月 Rev.A 初版

2006 年 12 月 Rev.B 記述変更